

空調ベッド 取扱い上のご注意

表面と裏面を間違えますと全く効果はありません。
ブルーの生地が表面で、グレーの生地は裏面です。



空調ベッドによる冷却効果には2つの要素があります。

1. 体の表面を通過する空気と、体温との温度差による冷却効果
2. 体の汗が蒸発する事による冷却効果

温度差による冷却効果は冷えすぎの危険があります。

室温が低い時は必ず上にベッドパットや敷毛布を
(空調ベッド本体のメッシュをふさがないように)敷いてご使用ください。

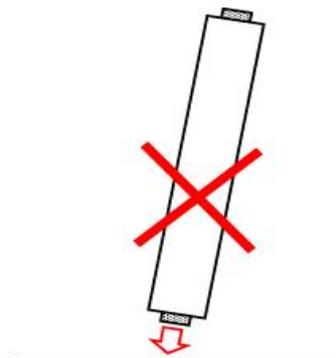
これによって温度差による冷えすぎが防止できます。

敷毛布があまり厚くなければ、体から出た汗は敷毛布を通して風路から排出されるため敷毛布に接した側の体表面も汗の蒸発によってちょうど良い状態に保たれます。

(生理クーラー理論、弊社ホームページ <http://www.9229.co.jp/> 参照)

じょくそう

特に床ずれ(褥瘡)対策や、寝汗対策に用いる際、室温が30℃以下で
ご使用される場合には、必ず敷毛布などをご使用ください。



ファンに衝撃を与えないでください

